

平成25年度 浜松医科大学

一般入試 [後期日程]

小論文問題冊子 (医 学 科)

平成25年3月12日 (火) 実施

【注意事項】

1. 問題冊子は、試験開始の合図があるまで開いてはいけません。
2. 問題に不鮮明な箇所等印刷上のミスがあった場合には、試験監督者に申し出て
ください。
3. 解答用紙及び下書き用紙には、必ず受験番号を記入してください。
4. 下書き用紙は回収するので、持ち帰ってはいけません。
5. 問題冊子は必ず持ち帰ってください。

【問題】

京都大学の山中伸弥教授は、多くの難病の患者さんを救いたいという夢の実現に向け努力し、地道な研究から iPS 細胞の確立につなげ、昨年ノーベル生理学賞を受賞しました。同様に多くの研究者も新規薬剤の開発や新規治療法の確立に取り組んでいます。これらの恩恵を受けて、実際に多くの患者さんたちが命を救われたり、痛みや不自由さから解放されています。医療に関わる人間にとって医学の進歩と患者さんを救うことに貢献できることは、まさに大きな夢の一つであると考えます。このように医学の発展は人類の健康と福祉に大いに貢献してきました。しかし他方で医学の発展に伴い、高額医療費等の経済面の問題や、研究及び臨床応用時の倫理面の問題等、様々な社会問題が生じていることも事実です。

これから医師を目指すあなたは、医学の進歩にどのように貢献したいという夢を抱いていますか。またその際、その夢の実現に伴う複雑な問題にはどのように対処したらいいと考えますか。あなたの考えを述べなさい。(800 字以内)